

11 期 青柳 健二

・実施日 2023 年 2 月 25 日(土)～27 日(月)

・参加者 (8 期) 野村・(11 期) 青柳
(15 期) 上馬・坂尻・(21 期) 竹本
(26 期) 畠山 計 6 名

今回は 25 回まで続いたスキー合宿を、スキーの会として再出発し、昨年と同様に 2 月末近くに実施しました。

参加者は、久しぶりに金沢から野村さん・上馬さん・坂尻さんが参加、地元の畠山さんに加えて愛知から竹本さんが初めて参加されました。

スキーの会として衣替えした年に、かように多彩なメンバーが集まった事は嬉しいことでした。

・2 月 25 日(土) 曇り時々雪

何時ものように朝 7 時半過ぎに自宅を出て、大宮駅 9 時 9 分発の上信越新幹線はくたか 555 号に乗り 10 時 32 分飯山駅着。ここで待ち合わせをした自家用車できた竹本さんと合流。11 時 10 分には宿“ふるさと”に入る。

今日は宿泊者が多いようで、2 階の大広間で着替えをして竹本さんと 2 人で 12 時 6 分にはスキーに出発。リフト券は、ヤル気満々の竹本さんに合わせてシニア 3 日券 (13,000 円也) とした。

新長坂ゴンドラで一気にやまびこ駅へ。レストハウスやまびこへ入って昼食とする。先行した 4 名が席を確保してくれていた。本日のランチはビーフカレー (1200 円也)

13 時 40 分過ぎにスキー開始。毛無山山頂まで登り、畠山さんのカメラで写真を撮る。やまびこ A コースを滑る。雪が強くなり、長坂ゴンドラを下り線に乗り長坂ゲレンデに出る。長坂ゲレンデで滑ることとする。斜度がなく長い長坂ゲレンデは調整ゲレンデとしては最高だ。但し、想定以上にバーンが固く、2 回転んだ。

4 時少し前に宿に戻った。今年の初滑りであり、疲れた。宿の内湯に入り疲れをとる。

19 時から夕食。

食堂には日本人の客が多く、その為か料理は今一步であった。



早々に、2 階の大広間に戻り、パソコンで写真会&懇談会を行う。

私が 61 歳の時に登ったヒマラヤ・ゴークヒーク登頂の写真を披露。

上馬さんは、白山の百四丈の滝を冬の滝つぼに降りた様子を披露。

畠山さんは、上越の山々を版面にした年賀状をお披露目。その素晴らしい出来栄で感嘆する。

夜 10 時過ぎに床に就く。

・2 月 26 日(日) 終日雪

6 時起床、7 時半に朝食をとる。

今日は天気が悪いので、ユックリとコーヒーを飲み、8 時 45 分過ぎにスキーに出る。

長坂ゴンドラは長い列であったが、ゴンドラを降りると上部はガスが濃く上のリフトが見渡せない。老人グループの私と野村さんはパラダイスゲレンデに行くことにした。若手は上に上がっていった。野村さんとパラダイスゲレンデを 2 回滑って、スキーサイドの三角屋根のロッジ「はくぎん」で休むことにする。“ケーキ・紅茶セット”で疲れを癒す。雪はシッカリ降り続けているので、このロッジで昼食を取ることに決め、畠山さんにメールして了解を得る。6 人分の座席を確保して、ジックリ体を休ませることにする。

11 時半に全員がロッジに集合。私は“塩バターラーメン (950 円也)”を食す。美味かった。

12 時半に午後のスキーに出る。畠山さんたち若手組はやまびこゲレンデへ。私と竹本さんはユートピアコースに出て日影ゲレンデから長坂ゲレンデへ出る。昨日同様に、長坂フォアのリフトに乗って調整する。ショートターン、ロングターンのコツを掴んでホットする。

15時過ぎに、連絡コースを滑り宿に着く。
定番の甘酒を飲んで、今日も無事に滑り終えた
ことでホットする。

久し振りに中尾の湯に行く。ゆっくり入って疲
れを癒す。熱い方の湯舟に入るもそんなに熱くなく、
気持ち良い汗をかいて満足する。

宿に戻ると畠山さんが帰るところで、見送る。

19時から夕食。今日は、人数が少なく、料理
は上等であった。信州サーモンのお刺身、茶碗蒸
し、小魚の唐揚げなど、美味であった。

9時30分ころ、床につくとストンと寝てしま
った。

・2月27日(月) 本日は終日快晴なり

朝6時起床、7時30分に朝食。何時ものリン
ゴとコーヒーが美味い。

8時には会計を済ませ、8時45分にスキーに出
かける。

今日は月曜日なので、長坂ゴンドラの列は短
い。9時40分には毛無山山頂に着いていた。



樹々に霧氷が張り付いて、その輝きが美しい。
早速やまびこAコースを滑る。なだらかなコー
スをスピード上げて滑り、急斜面の上で止まり、
急斜面をリフトの前まで滑り降りる。このスピー
ド感が心地よいのだ。3回滑って喫茶ダンテへ。

缶コーヒーを飲んで一休みする。この休憩スポ
ットがあるのが助かる。75歳の老スキーヤーに
は丁度良いのである。25年間、野沢で滑り続け
て怪我も無く滑り終えたことに感謝したい。



やまびこDコースを2回滑ってレストハウス
やまびこで昼食を取る。(山菜うどん 950円也)

12時40分、野村さん達3名は、金沢へ帰る。

竹本さんと二人でやまびこAコースを滑る。
妙高・火打が輝いて美しい。また、苗場山などの
山々も輝いている。この絶景が野沢の宝なのだ。

3回滑って、レストハウスで休み、スカイライ
ンコースを滑り降りる。今回初めてのスカイライ
ンである。このコースが野沢のベストコースであ
る。晴れた日の午後になると斜面が固くなって滑
りにくい。

転倒ないようにゆっくりと滑る。こんなに長
かったのか？こんなに急なところがあったのか？

細い斜面を転ばないように滑って、橋を滑り降
りてウサギコースの上に出る。バンザイ!!

柄沢ゲレンデを滑ってスキーを終える。

さすがに疲れた、無事なり。2時半に宿に着
く。スカイラインコースを滑り降りた直ぐの処に
宿があるのが、毎年泊まっている“ふるさと”の
強みである。

帰り支度を終えて、午後3時には帰途につく。

お土産処で“はと車 (1,300円也)”を買っ
て記念とする。

竹本さんに飯山駅まで車で送ってもらい、新幹
線はくたか号で帰ることが出来たのでした。

さて、スキーの会は来シーズンは“八方尾根”
を予定しています。その次の年は“志賀高原”と
しましょう。さて、何時までゲレンデスキーが続
けられるか楽しみです。